

第2期萩市総合戦略及び 地方創生交付金の効果検証について

第2期萩市総合戦略に掲げる令和3年度の取組の効果検証・・・P 3～28
地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金の効果検証・・・P 29～31

萩市総合政策部企画政策課

目次

1 だれもが生きいきと暮らせるまちづくり	3
①持続可能な医療体制の構築	3
②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進	3
③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進	4
④障がい者の社会参加の促進	5
⑤安心で質の高いサービスの確保	5
⑥その他全般的事項	6
2 子育ての幸せが実感できるまちづくり	7
①妊娠・出産・子育て環境の充実	7
②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり	8
③仕事と子育ての両立支援	8
④出会い・結婚サポートの充実	9
3 未来を担うひとを育むまちづくり	10
①「志」教育の推進	10
②新しい時代に必要となる資質・能力の育成	10
③地域とともにある学校づくりの推進	11
④萩の未来を支える教育機会の充実	11
⑤その他全般的事項	11
4 産業活力があふれるまちづくり	12
①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生	12
②起業・創業と企業誘致の推進	13
③企業人材の育成と雇用拡大の支援	13
④力強い農林水産業の推進	14
⑤地域産業の担い手・後継者育成	15
⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成	17
⑦その他全般的事項	17

5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	17
①全国に誇る萩のまちなみの継承	17
②文化財の保存と活用による萩のにぎわいづくり	18
③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承	18
④萩ジオパーク構想の推進	19
⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進	20
⑥観光客誘致の積極展開	21
⑦その他全般的事項	21
6 生活基盤の充実した住みよいまちづくり	22
①暮らしに密着した交通網の形成	22
②生活サービス機能の維持・向上	22
③持続可能で快適な環境づくり	23
④防災体制の強化	24
⑤地球にやさしい環境づくり	24
7 だれからも愛されるまち、求められるまちづくり	25
①市民との協働による元気なコミュニティづくり	25
②萩の魅力をいかした移住・定住	26
③市民一人ひとりが輝くまちづくり	27
④地域の特色をいかしたまちづくり	27
⑤魅力ある離島の発展	28
⑥その他全般的事項	28

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比				
1	KGI：市民満足度の向上	向上	-	28.7%	30.8%	-	-	-	2.1%			
1 だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	①持続可能な医療体制の構築											
	KPI①：萩・阿武健康ダイヤル24利用件数（年間）	2,500件	1,555件	2,161件	3,071件	-	-	-	910件	【KPI①】コロナの受診相談窓口となっていることが相談件数の増加の要因。今後もダイヤル24の利用を周知し救急医療に関わる医療従事者の負担軽減を図る。【KPI②】令和4年度は新採用救命士3名を含め4名の救命士が運用を開始し、目標は達成するが、年齢や管理職への昇進により現場出勤が困難になる隊員もいるため引き続き救命士の養成に向けて取り組んでいく。		
	KPI②：高度救命処置を実施できる救急救命士の養成数	33人	28人	28人	30人	-	-	-	2人			
	主 な 取 組	萩保健医療圏における中核病院の形成										
		・中核病院協議会の開催 ⇒ 新たな検討組織において、これまでの萩市民病院と都志見病院との統合案も含め、中核病院の形成の手法について協議、検討を行った。（計4回）										
市民病院、市立診療所の運営管理・設備の維持・確保												
・市民病院の運営管理 ⇒ コロナ感染症患者等や二次救急医療の対応等、公立病院としての役割を果たすとともに、継続的な経営改善の取組と計画的な施設改修を行った。 ・市立診療所の運営管理 ⇒ 患者数の減少や医療従事者の不足など診療所の運営は厳しくなっており、グループ化や集約化等、体制見直しを検討している。												
救急医療体制の確保												
・一次救急の維持 ⇒ 在宅当番医制及び休日急患診療センターの運営により、一次救急の維持を図った。 ・二次救急の維持 ⇒ 3病院の輪番制により二次救急を維持した。												

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比				
1	②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進											
1 だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	KPI①：認知症サポーターの養成数（累計）	10,000人	8,311人	8,840人	8,962人	-	-	-	122人	【KPI①】コロナの感染拡大防止のため、例年のような介護予防の普及啓発活動や、認知症サポーター養成講座等の出前講座は実施が困難であった。今後は、感染予防に留意しつつ、対象者に応じて実施方法を検討し、身体活動や社会活動が維持できるよう取り組む。【KPI②】令和3年度に、通所型は1箇所新規の立上げがあり目標を越えており、訪問型は1箇所新規の立上げがあり目標を達成している。今後も各生活圏において必要な生活支援サービスが提供できるよう、地域ささえあい推進員や地域ささえあい協議体を通じ、継続的な支援を行う。		
	KPI②-1：住民主体によるサービス提供団体数 通所型	15箇所	13箇所	15箇所	16箇所	-	-	-	1箇所			
	KPI②-2：住民主体によるサービス提供団体数 訪問型	11箇所	9箇所	10箇所	11箇所	-	-	-	1箇所			
	主 な 取 組	介護予防と認知症支援の推進										
		・一般介護予防 ⇒ 地域で自立した生活を送ることができるように、フレイルに早く気づき、日常生活の中で予防に取り組めるよう、介護予防についての普及啓発を行った。 ・認知症施策の推進 ⇒ 認知症の人の本人発信支援やその家族の支援、見守り体制など、認知症の人の意思が尊重され、よりよい環境で暮らすことができる地域づくりを推進した。										
すべての人への権利擁護支援												
・萩市権利擁護支援センターの運営 ⇒ 権利擁護支援の総合相談窓口として、萩市権利擁護支援センターを運営した。 ・権利擁護支援体制の充実 ⇒ 萩市権利擁護支援センターを中核機関とし、権利擁護支援の地域連携ネットワークを活用した支援を行った。												
地域の支え合い活動の推進												
・地域ささえあい推進員の配置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供体制づくりを支援した。 ・地域ささえあい協議体の設置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供に向けた情報共有及び連携強化の場を設置した。 ・住民主体の生活支援環境整備 ⇒ 住民主体の高齢者生活支援サービスを実施する団体を支援した。												
高齢者等公共交通利用困難者への移動支援												
・交通空白地域外出支援サービス ⇒ 公共交通機関から遠距離にある地域及び離島における高齢者等の外出支援サービスを実施した。 ・大島地区高齢者等外出支援サービス ⇒ 市の公用車を貸与して町内会の運行により渡船場までの送迎を行った。												

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進									
KPI①-1：健康寿命 男	79.47歳	78.87歳	79.93歳	79.37歳	-	-	-	-0.56歳	【KPI①、②】健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病予防と重症化予防のため節塩運動に取り組んだ。コロナ禍のため地域における健康教室や健康フェアが中止となるなど住民へのアプローチが困難な状況であり、健康寿命が延伸につながらなかった。今後は、感染症対策に留意しながら、可能な方法で事業に取り組んでいく。また、今後も働き世代の健康づくりの動機付けとして、やまぐち健幸アプリの登録の推進や健康栄養相談の場を利用し、働きかけを行う。その他、至誠館大学と協働で家族で楽しめる健康体操を作成し、周知を図る。【KPI③】令和3年度もコロナ対策のため、完全予約制で実施したが、受診率が伸びなかった。今後もがん検診の周知の徹底と費用への支援を継続し、受診率の向上に努める。 【KPI④】令和3年度は、健診期間などについて、コロナの影響を受ける前に近い体制で実施ができたため受診率が向上した。令和4年度も、自己負担額の無料化及び未受診者勧奨を引き続き実施し、更なる受診率の向上に努める。
KPI①-2：健康寿命 女	84.34歳	83.74歳	83.11歳	82.64歳	-	-	-	-0.47歳	
KPI②：糖尿病患者の割合（50歳代）	6.5%	8.0%	8.5%	9.2%	-	-	-	0.7%	
KPI③-1：胃がん検診受診率 男	10.0%	2.4%	0.9%	1.4%	-	-	-	0.5%	
KPI③-2：胃がん検診受診率 女	10.0%	3.8%	1.1%	2.5%	-	-	-	1.4%	
KPI③-3：大腸がん検診受診率 男	10.0%	3.2%	5.6%	3.3%	-	-	-	-2.3%	
KPI③-4：大腸がん検診受診率 女	10.0%	6.8%	7.4%	7.1%	-	-	-	-0.3%	
KPI④：特定健康診査受診率	60.0%	26.5%	24.9%	29.5%	-	-	-	4.6%	
主な取組	各種健康診査や予防接種の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・成人健康診査 ⇒ 特定健康診査（生活保護受給者）、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診、胃がん検診、子宮がん検診等、各種検診を行った。 ・がん検診の総合支援 ⇒ 特定の年齢に達した方ががん検診の無料クーポン券を交付し受診促進を図った。 ・高齢者の予防接種 ⇒ 高齢者肺炎球菌ワクチン、高齢者インフルエンザワクチンの接種を実施した。 ・新型コロナウイルスワクチンの接種 ⇒ 各対象年齢における新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。 								
主な取組	健康的な生活習慣の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防と重症化防止の取組 ⇒ 生活習慣病予防のための食事や運動についての媒体や健康体操を作成し、周知した。節塩プロジェクトを実施し、健康相談や健康教育等、節塩運動を広めた。 ・やまぐち健康マイレージ事業の活用 ⇒ 萩市のマイレージ事業「萩にゃん。健康チャレンジ」、やまぐち健幸アプリ登録の推進を行った。 								

1 だれもが生きいきと暮らせるまちづくり

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
1 だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	④障がい者の社会参加の促進								
	KPI①：手話通訳者数	10人	6人	6人	6人	-	-	-	0人
	KPI②：要約筆記者数	10人	8人	8人	8人	-	-	-	0人
主 な 取 組	手話言語条例の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・手話研修会の開催 ⇒ 市民、市職員を対象に開催した。 ・手話通訳者や要約筆記の配置 ⇒ 市主催の講演会等において配置した。 ・フォローアップ研修の実施 ⇒ 手話通訳者資格の取得に向け、手話奉仕員を対象に実施した。 ・奉仕員の養成講座の開催 ⇒ 要約筆記者確保に向け、市内のみの活動に限定した養成講座を実施した。 								
	相談支援体制の強化								
	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業所の機能強化を推進 ⇒ 基幹相談支援センターを設置し、機能強化を推進した。 								
	障がい者福祉の経済的支援や環境整備								
	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援 ⇒ 福祉サービスの助成を行った。医療費の助成を行った。日常生活用具費の助成を行った。 ・さんみ苑、つばき園の施設修繕 								
	【KPI①、②】「手話言語条例」に基づき、誰もが手話に触れ、新たなコミュニケーション方法を獲得することを目指して市民参加型の手話研修会を実施した。また、手話通訳者、要約筆記者を確保するため今後も養成講座を実施する。基幹相談支援センターを中心に相談支援体制を強化し、障がい者や療育を必要とする児童及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう相談機能の充実を図る。								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
1 だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	⑤安心で質の高いサービスの確保								
	KPI①：山口県立萩看護学校（第1看護学科）卒業生の市内医療機関就職者数（年間）	5人	1人	0人	1人	-	-	-	1人
	KPI②：医師の初期研修受入者数	20人	17人	18人	8人	-	-	-	-10人
	KPI③：介護人材の不足数	41人	76人	54人	50人	-	-	-	-4人
主 な 取 組	医療従事者の確保対策の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の確保 ⇒ 医療従事者を志す学生に地域医療の魅力を知ってもらうため、地域医療セミナーを開催した。市立診療所の医師が萩看護学校で講義、講演を実施し、市内就職の促進に努めた。 								
	介護人材の確保対策の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得に係る費用の助成 ⇒ 介護人材の確保、介護人材の育成及び離職を防ぐため、各種研修、介護福祉士国家試験などの費用を助成した。 								
	【KPI①】地域医療の魅力発信、市内就職の促進など、市の取組が不十分だった。今後は、看護学生との交流など関わりを増やしていく。【KPI②】研修期間が2週間から4週間に延びた影響で1人当たり滞在期間が長期化し、実人数が減少したが、今後も取組を継続していく。【KPI③】不足する介護人材の確保と育成のため、令和2年度に介護福祉士等の受講、受験に係る費用の一部を助成する「介護人材確保・育成事業」を開始した。今後も事業者の意見等を取り入れ、支援制度等の検討を進める。								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	⑥その他全般的事項									
	KPI①-1：福祉ボランティア数 団体	16団体	10団体	10団体	14団体	-	-	-	4団体	【KPI①、②】コロナの影響でボランティア活動自体が制限されていたが、関係機関の尽力により大幅な福祉ボランティア数の増加があった。地区社協について、新たに木間地区で組織化された。今後も、福祉ボランティアや住民による地域福祉組織の拡充に努めていく。【KPI③】5回のゲートキーパー養成講座を実施し、見守り隊員が116人増加した。一方で新規の隊員数は昨年度より減少しており、これは、コロナの影響による講座依頼数の減少と講座の中止、参加人数の制限等が要因と考えられる。今後も、学校や地区組織、事業所等広く住民に働きかけ、見守り隊員を増やしていく。
	KPI①-2：福祉ボランティア数 個人	70人	5人	5人	41人	-	-	-	36人	
	KPI②：住民による地域福祉組織（地区社協・町内会福祉部等）の設置数	51組織	38組織	39組織	40組織	-	-	-	1組織	
	KPI③：こころの健康づくり見守り隊員数（累計）	4,000人	2,559人	3,462人	3,578人	-	-	-	116人	
主な取組	<p>地域福祉の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩市社会福祉協議会の運営 ⇒ 地域福祉活動推進事業を安定的に運営できるよう、人件費等の補助を行った。 <p>地域保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク児童生徒を見守る支援者養成講座の開催 ⇒ 学校教育課と協力し、教職員を対象に開催した。 ・ゲートキーパー養成講座の開催 ⇒ 閉じこもり、自殺等の早期発見、早期対応策として心の健康づくりの支援を行った。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
KGI：希望する子どもの数（子どもを持つ予定人数）の増加	2.27人	2.21人	2.11人	2.26人				0.15人	
①妊娠・出産・子育て環境の充実									
KPI①：育児に必要な備品購入等支援件数（累計）	1,500件	-	307件	524件	-	-	-	217件	【KPI①】令和3年度に「子育て世帯応援誕生祝い金事業」を創設したことに伴い事業を終了したが、多くの利用があり需要の高い制度であったと言える。【KPI②～③】令和3年度はコロナ予防のため、外出を控える傾向にあったことや、子育て世代包括支援センターへの1回の来所者数を3組程度にしたこともあり来所者数の減少となった。特定妊婦に関して、働く方が増加しており、産前休暇に入ってしまう方が多いため、対面相談や訪問が難しい。また、本人が必要を感じない場合、電話に出ない場合もあり、令和3年度は電話相談も減っている。今後も定期的な架電による状況把握に努め、相談者に寄り添った対応、助産師が在駐している強みをいかした対応を継続する。対面相談や訪問は、必要性や本人の意向に沿って実施する。
KPI②：子育て世代包括支援センター相談件数（年間）	960件	567件	993件	854件	-	-	-	-139件	
KPI③-1：特定妊婦相談実施率 電話相談	80.0%	64.3%	92.3%	76.2%	-	-	-	-16.1%	
KPI③-2：特定妊婦相談実施率 対面相談	60.0%	42.9%	34.6%	19.1%	-	-	-	-15.5%	
KPI③-3：特定妊婦相談実施率 家庭訪問	50.0%	32.1%	26.9%	9.5%	-	-	-	-17.4%	
主な 取組	子育て世帯への経済的支援の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成 ⇒ 高校生等までの医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。 ・子育て世帯への応援 ⇒ 育児に必要な備品や新生児のおむつの購入費用を助成した（令和3年度で終了）。 <新規>・誕生祝金の給付 ⇒ 令和3年4月1日以降に出生した子を持つ子育て世帯に対して市内共通商品券を給付した。 ・児童手当、多子世帯子育て支援金の支給 ⇒ 児童手当を支給した。第3子以降の保育料を助成した。 								
	相談体制や各種講座の充実								
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの運営 ⇒ 総合相談窓口として開設した。相談対応による支援をはじめ、出前講座による啓発活動を実施した。 ・家庭児童相談室の運営 ⇒ 家庭児童相談員を配置し、虐待、いじめ、不登校など家庭の環境により生じた健全育成上の問題に対し、助言・指導を実施した。 								
	健康診査や予防接種の推進								
<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に係る取組 ⇒ 相談対応による支援や各種健康診査の実施、妊婦健康診査費用の助成、産婦健康診査費用の助成を実施した。 ・予防歯科 ⇒ 妊婦歯科健康診査、歯科医師や歯科衛生士による歯科健診や保健指導（出前講座）を実施した。 ・予防接種の実施 ⇒ 風しんの追加的対策事業（抗体検査、予防接種）、小児定期予防接種を実施した。各種予防接種費用を助成した。 									
不妊症・不育症に対する支援									
<ul style="list-style-type: none"> ・不妊症治療費、不育症治療費の助成 ・県不妊治療専門相談会への協力 									

2 子育ての幸せが実感できるまちづくり

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
2 子育ての幸せが実感できるまちづくり									
②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり									
KPI①：児童館の来館者数（年間）	52,000人	50,872人	43,346人	40,854人	-	-	-	-2,492人	【KPI①】児童館の来館者数については、コロナの感染拡大のために臨時休館や開館時間の短縮等を実施したことにより減少した。今後もコロナ対策を万全にし、利用しやすい環境づくりに取り組む。【KPI②】100%を維持できているため、今後も100%を維持する。
KPI②：児童クラブ等利用希望受入率	100%の維持	100%	100%	100%	-	-	-	0%	
主な取組	<p>保育所等の運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の運営、民間保育所等への支援 ⇒ 公立保育園を運営するとともに、市内児童が入所している民間保育所等に対して運営経費を支援した。 <p>子育て拠点施設や遊び場の運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館の運営 ⇒ 子どもの諸活動、子育て支援事業、広報活動等を実施した。 ・プレーパークの運営 ⇒ 自己責任のもと、自由な遊びを実現する場を提供した。 ・親子の遊び場「あそぼ一舎」の整備 ⇒ 創造力豊かな子どもの育成につながるよう、体全体を使ってアクティブに遊べる親子の遊び場を整備した。 <p>放課後等の生活・遊び場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全育成の推進 ⇒ 小学生を対象に児童クラブを開設した。放課後子ども教室を開催した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
2 子育ての幸せが実感できるまちづくり									
③仕事と子育ての両立支援									
KPI①：病児保育利用者数（年間）	450人	299人	255人	552人	-	-	-	297人	【KPI①、②】病児保育利用者数は、令和2年度にコロナ対策により風邪等の罹患児が減少したものの、令和3年度は利用者が増加した。休日保育利用者数は、令和2年度にコロナの影響により利用者が減少したものの、令和3年度は増加となった。今後もコロナ対策を万全にし、利用しやすい環境づくりに取り組む。
KPI②：休日保育利用者数（年間）	600人	592人	409人	534人	-	-	-	125人	
主な取組	<p>仕事と子育ての両立しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間保育の実施 ⇒ 夜間及び深夜勤務を伴う保護者の児童を翌朝まで預かり、仕事と子育ての両立を支援した。 ・休日保育の実施 ⇒ 日曜日日に保護者が仕事で家庭での保育ができない児童を預かり、保育を実施した。 ・延長保育の実施 ⇒ 1時間から2時間、開所時間を超える延長保育を実施した。 ・病児保育の実施 ⇒ 病気やけがのため集団保育が困難な子どもを、一定期間専用施設で預かり、保育を実施した。 ・ファミリー・サポート・センターの運営 ⇒ 子育て相互援助組織による地域の子育て支援を推進した。 <p>ひとり親家庭の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の支給 ⇒ ひとり親家庭の生活の安定と自立促進を目的に児童扶養手当を支給した。 ・母子家庭等自立支援給付金の給付 ⇒ ひとり親家庭で資格取得のために養成機関で修業した場合、生活費の一部や訓練講座受講経費の一部を補助した。 ・ひとり親家庭医療費の助成 ⇒ ひとり親家庭の父または母、その児童の医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
2 子 育 て の 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	④出会い・結婚サポートの充実								
	KPI①：結婚支援制度を活用した成婚数（累計）	10件	-	0件	1件	-	-	-	1件
主 な 取 組	結婚を希望する男女の出会いの場の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・結婚相談所の運営 ⇒ 結婚相談所を運営しマッチング、カップリングを実施した。 ・出会いの場づくりの応援 ⇒ はぎ縁結び応援団へ企画を募集し、採択された企画へ補助金を交付した。県内事業者へ委託して、婚活イベントを開催した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学生	90.0%	87.1%	-	80.8%	-	-	-	80.8%	
	KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学生	85.0%	84.3%	-	73.6%	-	-	-	73.6%	
①「志」教育の推進										
	KPI①：ひとづくりセミナーの参加者数（年間）	1,000人	-	1,210人	760人	-	-	-	-450人	【KPI①】コロナ感染拡大防止のため、市民館大ホールでの開催を中止としたことが前年比減の要因である。しかしながら、学校の理解、協力を得て、オンラインで開催した。今後も、オンライン開催について各校と調整していく。【KPI②】今後は、学校評価等の客観的なデータを用いて教育効果を検証し、めざす子ども像や育成をめざす資質・能力の実現に向けた取組を支援する。
	KPI②：地域の特色を生かしたカリキュラムを作成している学校の割合	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	-	-	0.0%	
主な取組	未来を切り拓くひとづくり									
	<ul style="list-style-type: none"> 未来を切り拓くひとづくりセミナーの開催 ⇒ コロナ感染拡大防止のため、市民館大ホールでの開催を中止し、市内中学校・高校を対象にしたオンライン開催を実施した。 成人式の開催 ⇒ 昨年度延期した令和3年成人式は、コロナ感染拡大防止のため中止した。令和4年成人式は予定通り開催した。 わくわくキッズフェスタ開催の補助 ⇒ 子ども達に様々な体験活動を楽しんでもらうイベントの開催を補助した。 									
	特色ある教育の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> 学校・地域連携カリキュラムの作成及び改訂 ⇒ 全ての中学校区において、ランドデザインと9年間の単元配列表を学校・地域連携カリキュラムとして再整理した。児童生徒や保護者、地域住民等の声を聞き、教育活動の改善につなげていく取組を推進した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成									
	KPI①：中学校卒業時に英検3級以上を取得している生徒の割合	50.0%	30.8%	28.8%	46.6%	-	-	-	17.8%	【KPI①】英語学習指導員による指導の効果もあり、3級以上の取得率が大幅に上昇した。今後は、中学校の英語教員の英検に向けた指導力の向上を図る。 【KPI②】小学校・中学校とも、算数・数学科において全国平均をやや下回っているため、ICTを活用した授業改善を軸とする学力向上の取組の充実を図る。なお、令和2年度は、コロナによる影響で、国による全国学力・学習状況調査が未実施のため実績不明。
	KPI②-1：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生国語	上回る	上回る	-	上回る(+3.3)	-	-	-	-	
	KPI②-2：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生算数	上回る	下回る	-	下回る(-0.2)	-	-	-	-	
	KPI②-3：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生国語	上回る	上回る	-	上回る(+1.4)	-	-	-	-	
	KPI②-4：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生数学	上回る	上回る	-	下回る(-0.2)	-	-	-	-	
主な取組	グローバル人材の育成									
	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習指導員の配置 ⇒ 2名の指導員による放課後及び夏休みの英検チャレンジ教室を実施した。 英語教育研修会の開催 ⇒ 小学校教員を対象にした研修会をオンライン開催した。 英語検定3級以上受検料の補助 ⇒ 中学3年間のうち一度は補助することを周知し、受検者数を増やすよう努めてきた。 									
	学力向上の取組									
	<ul style="list-style-type: none"> 複式学習指導員の配置 ⇒ 複式学級を有する小学校を計画的に訪問し、年々増加する若手教員や複式指導未経験教員に対する指導を実施した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	③地域とともにある学校づくりの推進									
	KPI①-1：地域の行事に参加している児童生徒の割合 小学生	85.0%	81.4%	-	80.7%	-	-	-	80.7%	【KPI①】コロナ禍で地域行事が中止となるなど児童生徒が参加できない状況が続くことが実績に影響している。児童生徒が企画段階から地域行事へ参画する取組を増やしていく。令和2年度は前項目と同様に実績不明。
	KPI①-2：地域の行事に参加している児童生徒の割合 中学生	80.0%	72.7%	-	72.9%	-	-	-	72.9%	
主な取組	コミュニティ・スクールの推進 ・コミュニティ・スクールとしての取組の推進 ⇒ 地域や学校の特色を生かした教育活動の展開につながった。 ・コミュニティ・スクール関連経費への補助 ⇒ 会議開催経費や、地域との交流活動経費を補助した。 地域協育ネットの推進 ・地域協育ネットの推進 ⇒ 地域学校協働活動推進員を配置し、学校、地域、家庭が連携し、子どもたちの育ちを支援した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	④秋の未来を支える教育機会の充実									
	KPI①：児童生徒用コンピュータ整備の割合	100.0%	18.3%	100.0%	100.0%	-	-	-	0.0%	【KPI①】緊急時における家庭でのオンライン学習や学校間の遠隔授業の導入など、端末の効果的な活用が進んできた。今後は、児童生徒、教員のスキルアップを継続するとともに、学力向上につながる活用を進める。【KPI②】不登校出現率について、前年度と比較すると、中学校は減少したが、小学校は増加している。今後も子ども相談・支援室を中心に粘り強く支援し、出現率の減少をめざす。
	KPI②-1：児童100人当たりの不登校児童生徒の割合（小学校）	減少させる	0.48	0.18	0.69	-	-	-	0.51	
	KPI②-2：生徒100人当たりの不登校児童生徒の割合（中学校）	減少させる	2.51	3.98	3.09	-	-	-	-0.89	
主な取組	キャリア教育の推進 ・市内小学生への就業講話 ⇒ 市内小学生を対象に、職業講話を実施した。 ・萩・農下村塾の開催 ⇒ 児童生徒による農業体験を実施した。収穫することの喜びや農業の大変さ、苦勞を体感させることができた。 教育環境の充実 ・小、中学校の改修営繕 ⇒ 施設、空調設備の整備工事を実施した。LED設置工事を実施した。校舎の予防保全工事を実施した。 ・一人一台端末の活用に向けた条件整備 ⇒ 家庭でのオンライン学習に向けた端末の持ち帰りや通信環境の確認・整備に努めた。 相談体制、支援体制の充実 ・子ども相談・支援室、萩輝きスクールの運営 ⇒ 生徒指導上の課題に対応するため、ケース会議の実施や萩輝きスクールでの支援を行った。 修学のための経済的支援 ・奨学金の給付 ⇒ 市内高校生、至誠館大学生、至誠館以外の大学生、萩看護学院生、萩看護学生、農業大学校生を対象に奨学金を給付した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	⑤その他全般的事項									
	KPI①：高校生・大学生等が参画した市の事業数（累計）	50事業	-	10事業	19事業	-	-	-	9事業	【KPI①】概ね、単年度の目標数値となる10事業に近い参画を達成した。今後も各機関と連携し、市の事業への高校生、大学生の参画を促す。
主な取組	ひとつづくり構想の推進 ・ひとつづくり構想の推進 ⇒ 萩市ひとつづくり構想推進委員会を開催し、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施した。 高等教育機関との連携 ・はぎマルシェの開催 ⇒ 子ども向けのゲーム企画や農業系のクラブ等、高校生に出店いただいた。 ・萩城下町マラソンの開催 ⇒ 「維新の里萩城下町マラソン大会2021」の沿道補助員として、多くの至誠館大学の大学生に協力いただいた。 ・シティプロモーションの推進 ⇒ 萩フレンド保険の加入者特典の1つである萩製品の選定に際し、高校生から製品のセット内容のアイディアを提案いただいた。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
KGI：納税義務者1人当たりの所得	2,659千円	2,591千円	2,449千円	2,351千円	-	-	-	-98千円	
①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生									
KPI①：地域ブランド調査の食品想起率県内ランキング（ブランド総合研究所）	1位	3位	3位	3位	-	-	-	0位	【KPI①】目標値の達成には継続した取組が必要であるため、引き続き食のポータルサイトやブランドパンフレット、ふるさと寄附等を通じて萩の食の魅力発信を行っていく。【KPI②～④】はぎビズの運営について、長引くコロナの影響で相談者は前年度より減少しているが、相談者からは、引き続き評価を得ている。令和4年度からは、萩商工会議所が取り組む新たな支援事業にビズ機能を含めることで相談体制の充実を図る。新商品開発については、2件の新商品開発、販売につながった。今後は、令和3年度のお土産コンテストアイディアなどを活用した萩市の知名度をより高めることにつながる商品開発支援を行う。キャッシュレス決済の実施率は、16.92%と順調に伸びている。今後は、アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、市内事業所のデジタル化の促進に努める。
KPI②：はぎビズ相談件数（年間）	1,000件	-	607件	590件	-	-	-	-17件	
KPI③：新商品開発件数（累計）	6件	-	4件	6件	-	-	-	2件	
KPI④：キャッシュレス決済の実施率	15.00%	11.28%	15.89%	16.92%	-	-	-	1.03%	
4 産業 活力が あふれ るまち づくり 主な 取組	萩ブランドの推進								
	・萩・地域ブランドの構築 ⇒ 食のブランド産品を中心にウェブサイト、紙媒体等による総合的な情報発信を行い、販路拡大や事業者の稼ぐ力の向上を支援した。								
	地場産業の振興								
	・中小企業長期経営安定資金の融資 ⇒ 事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。 ・起業化支援対策資金の融資 ⇒ 新たに事業を開始する中小企業者等に対し、事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。								
中小企業の事業拡大等への支援									
・中小企業等事業拡大補助金の交付 ⇒ 事業拡大へのチャレンジに補助金を交付し、販路の拡大、設備の充実及び広告宣伝等、経営力の向上を図った。 ・はぎビズの運営 ⇒ 中小企業の販路拡大や新サービス展開など、あらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。									
拠点施設の整備・機能強化									
・道の駅等の整備 ⇒ 道の駅萩往還の排水施設接続工事を実施した。旭農産物加工直売所「つつじ」交流施設を整備した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
4 ②起業・創業と企業誘致の推進										
産業 活力が あふ れる まち づく り	KPI①：中心市街地の空店舗活用件数（累計）	5件	1件	3件	4件	-	-	-	1件	【KPI①～③】中心商店街の空き店舗を活用した新規創業が1件あったほか、萩市インキュベーションセンターの積極的な活用が見られた。はぎビズと連携した伴走型の事業者支援や創業支援を継続し、アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、事業者に必要な支援を実施する。
	KPI②：インキュベーションセンター利用件数（累計）	8件	-	5件	8件	-	-	-	3件	
	KPI③：新規起業件数（年間）	11件	6件	11件	9件	-	-	-	-2件	
	主な取組	<p>起業・創業支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 萩市インキュベーションセンターの管理運営 ⇒ 地域産業の振興や起業・創業、企業誘致のさらなる促進のため、萩市インキュベーションセンターを運営した。 はぎビズの運営 ⇒ 中小企業の販路拡大に向けたあらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。 創業セミナー等支援の実施 ⇒ 商工会議所等が実施する創業者・予定者に対する相談、指導及びフォローアップに係る支援に対して補助を行った。 <p>企業誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業誘致の推進 ⇒ IT関連企業1社のサテライトオフィス誘致を実現した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
4 ③企業人材の育成と雇用拡大の支援										
産業 活力が あふ れる まち づく り	KPI①：萩市内企業の新規雇用者数（年間）	950人	883人	780人	760人	-	-	-	-20人	【KPI①～④】高校卒業予定者と市内企業のマッチング支援に取り組み、29名の新卒高校生の市内就職に結びつけた。コロナの影響により市内事業者も雇用の維持・確保に苦慮されていることから、地域外からの人材確保を促進するため、やまぐち移住支援サイトへの登録強化と合同企業説明会への参加促進、企業ガイドブックの内容充実を実施し、引き続き、市内事業所の認知向上と地元就業者数の増加、企業人材の育成に取り組む。
	KPI②：やまぐち移住支援サイトへの登録企業数	20社	8社	9社	13社	-	-	-	4社	
	KPI③：高校等卒業生の市内就職者数（年間）	50人	32人	43人	29人	-	-	-	-14人	
	KPI④：合同企業説明会参加企業数	30社	25社	24社	26社	-	-	-	2社	
	主な取組	<p>人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業の促進 ⇒ 新規採用者等を対象とした研修を予定していたが、コロナの影響により開催を中止した。 産業人材育成塾の開催 ⇒ 萩市産業人材育成塾「熱中小学校萩明倫館」実行委員会を設置し、チャレンジマインドの醸成を図った。 <p>雇用拡大の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業の促進 ⇒ 合同企業説明会を実施し、高校卒業予定者と市内企業のマッチングの場を提供するとともに、市内企業の魅力を伝える企業ガイドブックを制作した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
④力強い農林水産業の推進									
KPI：①集落営農法人連合体の組織数	3組織	2組織	3組織	5組織	-	-	-	2組織	【KPI①】2組織が新たに設立した。集落営農法人の経営合理化の手法の一つとして、法人連合体の設立支援を行っていく。 【KPI②】20頭以上の規模拡大を行った法人はなかった。引き続き、安定した繁殖経営を実現するため、畜産経営の外部環境を見定めながら規模拡大を支援していく。【KPI③】豊富な森林資源を背景に、森林の団地化、主伐・再造林や木材の流通・販売体制の構築・強化を通じ、主伐による搬出材積量を徐々に増加させる狙いであり、概ね順調に取組が進んでいる。今後も、関係者が連携して継続的に木材の生産・利用拡大を図る。【KPI④】前年度と比較すると増加しているが、漁業者の減少や水産資源の減少により、目標値となる水揚量には達していない。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全・生産力の向上等を推進していく。
KPI：②飼養頭数（母牛）20頭以上に規模拡大する和牛繁殖農家数	2経営体	-	1経営体	1経営体	-	-	-	0経営体	
KPI：③搬出材積量（主伐、年間）	11,700m ³	3,000m ³	4,488m ³	5,926m ³	-	-	-	1,438m ³	
KPI：④水産物水揚量（年間）	6,100t	6,041t	4,983t	5,265t	-	-	-	282t	
農地機能・農村機能の維持、農地集積・集約化の推進									
<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等への直接支払 ⇒ 農地を守り農業生産活動を行う集落等に面積規模に応じて交付金を交付した。 ・多面的機能維持、発揮への支援 ⇒ 農業・農村が担ってきた地域に対する多面的機能の維持、発揮のため、農業者と地域住民の共同活動を支援した。 ・機構集積協力金の交付 ⇒ 農地中間管理機構を活用した貸付、借受を支援した。 									
収益力の強化、担い手の経営発展									
<ul style="list-style-type: none"> ・儲かる農業経営体モデルの確立支援（ハード） ⇒ 個人の認定農業者及び新規就農者の農業用機械等の導入経費を支援した。 ・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた機械、施設の導入を支援した。 ・空きハウス等農業資源フル活用事業 ⇒ 新規就農者の栽培施設等整備に係る経費を支援した。 									
有害鳥獣等の被害対策									
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止の総合対策 ⇒ 鳥獣被害防止対策経費の一部を補助することにより、農業被害の軽減と所得の安定及び生産意欲の向上を推進した。 ・野猿被害軽減対策事業 ⇒ 被害軽減対策として、各猟友会に市内全域のサル捕獲業務を委託した。 									
農林水産品の生産振興、販売促進									
<ul style="list-style-type: none"> ・儲かる農業経営体モデル確立の支援（ソフト） ⇒ 付加価値を付けた農産物・農産加工品の販売を行う農業者等を支援した。特産品の開発を支援した。 ・はぎマルシェの推進 ⇒ 生産者と消費者の交流の場をつくり、生産者の販路拡大・所得向上や消費者の豊かな食生活を実現するための取組を支援した。 ・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施したほか、住宅等への地域産木材の活用を支援した。 ・萩の魚ブランド化推進協議会等への補助金 ⇒ 萩の魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。 ・萩の魚販売促進等の支援 ⇒ 萩産の水産物を活用した商品開発やその販路拡大等に取り組み女性グループを支援した。 									
畜産業の振興									
<ul style="list-style-type: none"> ・資源循環型肉用牛の経営育成 ⇒ 水田を活用した飼料作物の栽培、堆肥の処理散布を条件として、肉用牛の増頭に必要な施設整備の一部を補助した。 									
イベント等を通じた農林水産業の振興									
<ul style="list-style-type: none"> ・萩の魚ブランド化推進協議会補助金 ⇒ 新型コロナの感染拡大防止のため、萩のブランド魚を活用したイベントは、中止としたが、消費拡大・認知度向上のため代替イベントを実施した。 ・萩・魚まつりの開催 ⇒ コロナの感染拡大防止のため萩・魚まつりは中止したが、代替イベントとして萩のおいしい地魚グルメキャンペーンを実施した。 									
木材の活用を通じた持続可能な地域づくり									
<ul style="list-style-type: none"> ・林業6次産業化の推進 ⇒ 地域産木材の活用に向け、モデル的な簡易な木質空間によるPR、関係者の意見交換の場づくりや、市内中学校における授業等の普及啓発を推進した。 ・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施したほか、住宅等への地域産木材の活用を支援した。（再掲） 									

4

産業活力があふれるまちづくり

主な取組

次世代まで幸せになる林業

- ・主伐・再造林モデルの実証 ⇒ 市有林にてコンテナ苗や高性能林業機械を活用した主伐と再造林の一貫作業の実証を実施した。
- ・森、職、人づくりの推進 ⇒ 森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備を進めるために森林団地の形成を目指し、森林所有者の意向調査を実施したほか、林業経営体（地元森林組合）に対し、森林団地における適切な森林整備、効率的な作業を進めるための機械化、担い手の確保・育成の取組を支援した。

水産資源の保全・生産力の向上

- ・水産多面的機能発揮対策事業負担金 ⇒ 藻場やヨシ帯の保全回復に取り組む漁業者等の活動を支援し、水産業の再生及び漁村の活性化を推進した。
- ・単独漁場改良造成等事業費補助金 ⇒ 白魚産卵漁場の改良造成、稚あゆ等の放流、アワビ等種苗の購入にかかる経費を補助した。
- ・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取組を行う漁業集落を支援した。
- ・阿武・萩地域栽培漁業推進協議会負担金 ⇒ ヒラメ、アカアマダイ、カサゴの中間育成及び放流経費の一部を補助した。

農林水産施設の整備・運営管理

- ・農山漁業生活環境基盤の整備 ⇒ 衛生環境の向上を図り、安心安全な水産物の供給体制を整備するため、清浄海水殺菌装置の更新に対し補助を実施した。
- ・農林産物直売施設の整備 ⇒ 農林水産業・商工業等の振興を促進するため、施設の利便性及び販売力強化として、ドアとトイレの改修を実施し、利用者及び購入者の増加を図った。
- ・漁港の整備、機能増進 ⇒ 外郭施設・係留施設整備により、新定期船が着岸可能な施設整備を実施した。既存施設を最大限活用するため、施設の安全性を確保することを通じて漁港機能の増進を推進した。
- ・水産基盤ストックマネジメント ⇒ 施設の機能保全計画を策定し、計画的に保全工事を実施することで施設の長寿命化を推進した。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
⑤地域産業の担い手・後継者育成									
KPI①：新規農業就業者数（累計）	40人	-	8人	16人	-	-	-	8人	【KPI①】年平均目標8名の就業があった。今後も、関係機関と連携し、地域農業の担い手確保に取り組んでいく。【KPI②】主伐等の林業事業量の増加を見込み、新規就業者の確保は概ね順調に進んでいる。今後、林業経営体が取り組む研修等を支援し、就業者の育成・定着を図る。【KPI③】年平均目標8名を超える9名の就業があった。今後も漁協や県等と連携し、新規就業者の確保・育成・定着に努めていく。【KPI④】コロナの影響で人の移動に対する不安の声があがったことから、今後、コロナの影響を考慮した支援策を展開していく。【KPI⑤】4経営体がGPSアシスト機能付きトラクターなどのスマート農機を導入した。高齢化や人手不足などの課題を解決し、持続可能な農業を実現するため、スマート農機の導入を推進する。【KPI⑥】IT基礎知識を習得するためのeラーニングを提供した。高校生・大学生・一般の受講生約100人。今後、徳山高専との連携を強化し、IT人材の育成に努めていく。
KPI②：新規林業就業者数（累計）	5人	-	4人	6人	-	-	-	2人	
KPI③：新規漁業就業者数（累計）	40人	-	8人	17人	-	-	-	9人	
KPI④：農援隊による農繁期支援者数（累計）	100人	-	0人	0人	-	-	-	0人	
KPI⑤：スマート農業を導入した経営体数	5経営体	-	4経営体	8経営体	-	-	-	4経営体	
KPI⑥：IT企業と連携した人材育成カリキュラムの実施数（累計）	5回	-	1回	2回	-	-	-	1回	
4 産業 活力が あふれ るまち づくり 主な 取組	農林水産業の新規就業者の確保、育成、定着支援								
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農の総合支援 ⇒ 就農前の研修期間と経営が不安定な就農初期段階の所得を確保するための支援を実施した。新規就業者を雇用した農業法人を支援した。 ・農業スタートアップの応援 ⇒ 新規就農者の経済的な負担の軽減及び安定した農業経営と生活基盤の確立を支援するため、準備金や家賃の一部を補助した。 ・林業スタートアップの応援 ⇒ 林業への新規就業者の確保・育成を図るため、就業準備の資金や賃貸住宅の家賃補助等の支援を実施した。 ・漁業スタートアップの応援 ⇒ 新たに漁業に就業した方に準備金を支給した。 ・新規漁業就業者の定着促進 ⇒ 長期漁業研修の受講者へ研修支援金を支給した。漁協が新規就業者等にリースするために漁船等を購入する際の費用を支援した。漁業会社等に研修経費を支給した。漁業経営を開始した方に自立化支援金を支給した。 								
	規模拡大や経営合理化への支援								
	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた機械、施設の導入を支援した。 ・儲かる農業経営体モデルの確立支援（ハード） ⇒ 個人の認定農業者及び新規就農者の農業用機械等の導入経費を支援した。（再掲） 								
	第一次産業のIoT化								
<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農機の活用 ⇒ 人手不足解消及び作業の省力化に必要なスマート農機の導入を支援した。 ・スマート農機の導入支援 ⇒ コロナに負けない農業経営実践加速化事業によりスマート農機導入を支援した。 									
産業人材の育成、確保									
<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルIT人材確保、育成の推進 ⇒ 萩グローバルIT人材育成協議会を運営し、大学生等を対象にeラーニングを中心としたIT学習カリキュラムを提供した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成								
	KPI①：山陰道の事業化区間の延長	事業化区間	優先整備区間	事業化区間	-	-	-	-	-
主な 取組	高規格道路及び地域高規格道路の整備促進 ・山陰道の整備促進 ⇒ 大井～萩間、小浜～田万川間の2区間の令和3年度新規事業化を目指して要望活動を行った。令和3年度の新規事業化が決定した。								
5 魅力ある 歴史・文 化・自然 をいかし たまち づくり	⑦その他全般的事項								
	主な 取組	旧明倫小学校の整備・活用 ・旧明倫小学校3、4号棟の整備 ⇒ 耐震化、外観修景、内装整備などを実施した。							

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
5 魅力ある 歴史・文 化・自然 をいかし たまち づくり	KGI：旅行消費額	143.4億円	131.5億円	94.8億円	98.4億円				3.6億円
	①全国に誇る萩のまちなみの継承								
主な 取組	KPI①：歴史的景観保存地区内の修景助成件数（累計）	10件	-	1件	2件	-	-	-	1件
	KPI②：花と緑の応援隊登録者数（累計）	394人	294人	353人	412人	-	-	-	59人
歴史的景観の保存・活用	・伝統的建造物群保存地区内の現状変更事務 ⇒ 申請、協議を処理した。 ・電柱の地中化 ⇒ 道路上の電柱の地中化を検討するために、史跡萩城下町の4箇所を試掘調査を実施した。								
景観保全や景観形成の推進	・歴史的景観保存地区の整備 ⇒ 歴史的景観保存地区における建造物等の修理修景に対して補助金を交付した。								
花と緑の推進	・笠山椿群生林の再生保全 ⇒ 笠山椿群生林のヤブツバキの再生・保全のため、検討委員会を開催し、現状調査と再生試験を実施した。 ・花と緑の推進事業補助金 ⇒ 市民による花と緑の推進に対する補助、花と緑の応援隊への支援、花いっぱい運動の推進を行った。								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり									
②文化財の保存と活用による萩のにぎわいづくり									
KPI①：文化財公開活用施設の入館者数（年間）	262,000人	255,000人	125,190人	134,517人	-	-	-	9,327人	【KPI①、②】コロナの影響により、観光旅行者の入込が大きく落ち込んでいることが、目標との乖離の要因である。アフターコロナを見据え、各施設の魅力向上につながる取組を検討する。
KPI②：文化財を活用したイベントの入込者数（年間）	151,000人	147,000人	56,495人	63,278人	-	-	-	6,783人	
主な取組	世界遺産構成資産の保存・活用								
	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産ビジターセンターの運営 ⇒ 世界文化遺産に関連する情報を発信した。 市内5資産の周遊を促すため、カードラリーを実施した。 								
	文化財等の保存・活用								
<ul style="list-style-type: none"> 伊藤博文旧宅保存修理事業 ⇒ 屋根の葺き替え軸部、壁、建具等の修理工事を実施した。保存修理竣工後には特別公開を実施した。 文化財の活用 ⇒ 市内の文化財施設を会場に萩城下の古き雑たちを開催した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり									
③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承									
KPI①：新しいおたからの発見数（累計）	4,000件	3,464件	3,680件	3,773件	-	-	-	93件	【KPI①、②】93件のおたからカルテ作成、14件の活用イベント開催など、ほぼ予定どおり取り組むことができた。【KPI③】長引くコロナの影響があり、例年の1/2以下の入館者数となったがコロナ対策を施し昨年より1万人近く入館者を増加させた。引き続きコロナ対策・アフターコロナを見据えた施策を展開していきたい。
KPI②：おたから活用イベントの実施数（累計）	50件	20件	43件	57件	-	-	-	14件	
KPI③：萩博物館の入館者数（年間）	100,000人	88,234人	32,646人	42,154人	-	-	-	9,508人	
主な取組	萩まちじゅう博物館構想の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> 萩まちじゅう博物館の推進 ⇒ おたからの調査などを行う団体を支援した。 								
	萩博物館等の運営								
<ul style="list-style-type: none"> 特別展の開催 ⇒ 夏期特別展は、例年並の規模で開催。予約制を導入し、人数制限の上、開催した。その他、春、秋、冬の各期は人数制限を設けず実施した。 									
調査研究の推進									
<ul style="list-style-type: none"> 報告書等の発行 ⇒ 各分野の成果をまとめた萩博物館調査研究報告第17号を発行した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
5 魅力ある 歴史・文化・自然を いかしたまちづくり	④萩ジオパーク構想の推進									
	KPI①：萩ジオパーク推進協議会公認ジオツアー・体験プログラム参加者数（年間）	500人	181人	211人	133人	-	-	-	-78人	【KPI①、②】長期化しているコロナの影響により、現地活動の制限等があったため、前年を下回った。一方で出前講座や情報発信拠点のリニューアルなど、コロナの影響を受けない部分での活動によりジオパークへの関心を維持している。 今後は状況を見つつ現地活動を活発に行い、オンライン、情報発信をうまく組み合わせて活動を広げていくよう努める。
	KPI②：萩ジオパーク推進協議会公認現役ジオガイド・ジオプランナー数	20人	9人	12人	12人	-	-	-	0人	
	市民への普及啓発の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 萩ジオアカデミー講座、地球を食べる食堂、萩ジオパークフェアを開催した。出前講座を実施した。 ・萩市ジオパーク活動の補助 ⇒ 萩商工高等学校（ジオサイトに無人人数カウンターの設置）、見島と共に生きる会（八町八反プロジェクト）の活動を補助した。 									
	環境保全や施設・展示の整備									
	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオサイトの看板設置 ⇒ 須佐ホルンフェルスにジオサイト解説看板を設置した。 ・ジオサイトの保全 ⇒ ジオサイトの草刈を実施した。 ・笠山山頂展望台の整備 ⇒ 笠山山頂展望台を拠点施設として整備した。 									
	情報発信の強化									
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信拠点のリニューアル ⇒ 笠山山頂展望台を情報発信拠点として、リニューアルオープンした。（再掲） ・地域巡回展の実施 ⇒ 市内各地域でパネル展示形式の巡回展を実施し、萩ジオパークを広く周知した。 									
	ジオツアー等関連商品の開発									
<ul style="list-style-type: none"> ・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ オンラインジオツアー等を開催した。 ・関連団体による取組 ⇒ 各種ジオツアーの開催、意見交換会等を実施した。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進									
	KPI①：来訪者満足度（おもてなし）	4.4	4.38	4.5	4.63	-	-	-	0.13
	KPI②：来訪者満足度（宿泊施設）	4.4	4.3	4.39	4.52	-	-	-	0.13
	KPI③：リピーター率	69.0%	65.4%	52.7%	52.1%	-	-	-	-0.6%
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	滞在型観光の仕組づくり								
	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な観光地づくり ⇒ 感染症対策を実施する観光関連施設で利用可能なクーポン券を配布する「萩にゃん。クーポン」の第2弾を実施し、参画事業者には感染症対策の徹底を求め、観光客の市内周遊を促進した。 ・魅力ある観光コンテンツの造成支援 ⇒ 萩市の自然・文化・食等を活用した、付加価値の高い体験コンテンツを造成、販売する事業者を支援するとともに、市内の体験コンテンツを紹介するプログラム集を編集した。 								
	<p><新規>・観光キャンペーン「屋根のない萩ミュージアム満喫キャンペーン」 ⇒ 歴史的なまちなみや豊かな自然景観、四季折々の花や旬の味覚など、萩まちじゅう博物館構想で掲げる「萩のおたから」を効果的に活用し、魅力的な観光地づくりを推進した。</p>								
	観光情報発信の強化								
	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。 ・魅力あるパンフレット作成・食情報の発信 ⇒ 季節ごとにイベント情報や市内の見どころを掲載した観光パンフレット等を発行した。旬の地元食材を提供した。 								
	観光受入体制の充実								
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入環境整備 ⇒ 観光客の満足度や回遊性が高まるよう、観光地の基盤整備に取り組んだ。 ・周遊サイクリングの実施 ⇒ 道の駅ゆとりパークたまがわを拠点にモデルコースを設定し、レンタサイクルを実施した。 								
	観光マーケティング調査								
<ul style="list-style-type: none"> ・観光動向の調査 ⇒ 観光客への聞き取り調査や、観光地での数取り調査を実施した。 									
観光施設等の運営・維持管理									
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設運営 ⇒ 清掃業務の委託、観光施設の維持管理、海水浴場の開設等を実施した。 ・萩・明倫学舎に係る取組 ⇒ NPO萩明倫学舎と協働し、4号館を含めた管理運営を行った。コワーキングスペースの運用を開始した。誘客イベント、開館5周年記念企画展、学舎維新祭オープニングイベントを開催した。キャッシュレス決済を拡充した。コロナ感染防止対策を実施した。 									
観光誘客イベントの充実									
<ul style="list-style-type: none"> ・萩づくりイベントの支援 ⇒ 花や自然を活用した、萩・夏みかんまつりや萩・椿まつりの他、着物ウィーク in 萩、萩・竹灯路物語など、感染症対策を講じた上で、可能な限り開催した。 									
<p>【KPI①、②】萩市の観光資源を活用した、付加価値の高い体験コンテンツを提供することで、観光客の満足度が上がった。安心安全な観光地づくり事業では、おもてなし＝感染症対策の徹底と考え、登録店舗を訪問し、感染症対策の徹底を図るとともに、セミナーを開催し、独自の対策をしている店舗や、クルーズ船の感染症対策を紹介した。【KPI③】県内や近県を中心に、昨年を上回る修学旅行生が訪れたこともあり、新規来訪者は47.9%となった。観光協会HPへのアクセス数1位の都道府県は昨年度に続いて、山口県であり、コロナ禍により近隣観光需要が増加しているといえる。近場の観光を楽しむ「マイクロツーリズム」が目玉され、市内キャンプ場、道の駅等の入込客数は増加傾向となっている。今後は、アフターコロナにおける観光ニーズに対応した受入環境の整備や、ジオパークの活用、サイクリング等の体験を提供できる仕組みを構築し、滞在型観光の推進に取り組む。</p>									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
⑥観光客誘致の積極展開									
KPI①：観光入込客数（年間）	5,000,000人	4,506,575人	3,199,061人	3,178,124人	-	-	-	-20,937人	【KPI①】コロナ禍により前年度比71.0%となった令和2年度比99.3%。引き続き、感染防止策の徹底と観光需要の回復に注力する。【KPI②】前年度比3.5%となった令和2年度比2.7%まで、さらに落ち込んだ。大型客船の寄港は令和3年度もすべてキャンセルとなった。アフターコロナを見据え、今後も受入態勢の整備と情報発信に努める。【KPI③】前年度比64.6%となった令和2年度比93.3%。引き続き、感染防止策の徹底と観光需要の回復に注力する。【KPI④】交通系ICカードの利用状況調査は年に1回5月～7月に事業者により行われる。今回対象となるICカードは、中国JRバスが令和3年3月から導入され、導入から令和3年7月までの利用実績となるため、利用率は13%となった。今後、事業実施主体の中国JRバス及び今年度から導入される予定の防長交通とともにPRに努める。
KPI②：外国人観光客数（年間）	29,000人	14,600人	516人	14人	-	-	-	-502人	
KPI③：宿泊者数（年間）	470,000人	405,409人	261,771人	244,119人	-	-	-	-17,652人	
KPI④：交通系ICカードの利用者率	50.0%	-	0.0%	13.0%	-	-	-	13.0%	
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	観光宣伝の推進								
	<p><新規>・観光キャンペーン「屋根のない萩ミュージアム満喫キャンペーン」展開 ⇒ テレビCM放映、インターネットSNS広告など、プロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。 ・観光施策負担金、補助金 ⇒ 他の観光地や団体へ負担金を支出し、観光情報の発信力を高めることで、萩市の認知度向上、観光客の誘致拡大に取り組んだ。 								
	インバウンドの推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。 ・インバウンドプロモーション ⇒ 欧米豪の英語圏及び台湾・香港の繁体字圏をターゲットとした情報発信として、萩の観光取材記事の作成及びSNSを活用した広告を実施した。 ・IoTなどを活用した新サービスの創出等の支援 ⇒ クレジットカード・電子マネー決済機器等を整備した。 								
主な取組	アクセスの充実								
	<ul style="list-style-type: none"> ・萩-新山口間直行バスの運行助成 ⇒ JR新山口駅と萩を結ぶ直行バススーパーはぎ号の運行事業者に対し補助を行い、運行を継続させた。 								
⑦その他全般的事項									
主な取組	旧明倫小学校の整備・活用								
	<ul style="list-style-type: none"> ・旧明倫小学校3、4号棟の整備 ⇒ 耐震化、外観修景、内装整備などを実施した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比				
6	KGI：市民アンケートによる満足度指標	向上	-	30.7%	34.2%	-	-	-	3.5%			
生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	①暮らしに密着した交通網の形成											
	KPI①：まあるバス利用者数（年間）	238,000人	213,943人	155,791人	159,563人	-	-	-	3,772人	【KPI①～②】まあるバスの利用者数は令和2年度に比べてわずかに2.4%の増加となり、コロナによる観光への影響が現在も続いていることが要因と考えられる。ぐるっとバスは、地域内の移動手段として運行していることから、コロナの影響は少なく、運行形態を見直した地域で利用者が大きく増加した前年度とほぼ同数を維持した。引き続き、利用しやすい交通ネットワークの構築を目指し、令和4年10月から新たなルートにより運行されるまあるバスの定着化とぐるっとバスの運行形態の見直しを進める。		
	KPI②：ぐるっとバス利用者数（年間）	24,000人	13,383人	23,295人	23,610人	-	-	-	315人			
	主 な 取 組	持続可能な公共交通ネットワークの形成										
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域巡回バスの運行 ⇒ 交通空白地域を含め、地域内の移動手段として、利便性の向上を図りながらぐるっとバスを運行した。 ・交通ネットワークの再構築 ⇒ 路線バス撤退に伴い、地域内の移動手段を確保するため、生活バス、乗合タクシーを運行した。 ・総合時刻表等の作成 										
		市内巡回バスの維持・充実										
<ul style="list-style-type: none"> ・まあるバスの運行 ⇒ 運行支援事業補助、利用促進事業補助など実施し、市民、市外来訪者の市街地における移動手段としてまあるバスを運行した。運行ルートを見直した実証運行を行った。 												
地方バス路線の維持・充実												
<ul style="list-style-type: none"> ・地方バス路線の補助 ⇒ 交通事業者へ路線バスを維持するための支援として補助金を支出した。 												
離島航路の維持・充実												
<ul style="list-style-type: none"> ・離島航路等への補助 ⇒ 事業者へ離島航路を維持するための支援を実施した。航路運賃低廉化事業を行った。 												

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比				
6	②生活サービス機能の維持・向上											
生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	KPI①：道の駅の来訪者数（年間）	2,614,000人	1,965,000人	2,177,849人	2,304,039人	-	-	-	126,190人	【KPI①】施設整備により、利便性を上げることができた。今後も地域の生活拠点整備に取り組む。【KPI②】行政、教育、商業、交通など高次都市機能の喪失はない。引き続き、福祉、医療、商業施設などの誘導区域内への誘導や、既往施設の維持を推進し、集積率の向上に努める。【KPI③】携帯電話事業者による基地局整備により、不感エリアの解消につながった。引き続き携帯電話事業者へ要望を行っていく。		
	KPI②：都市機能誘導区域内における誘導施設集積率	49.0%以上	49.0%	49.0%	51.1%	-	-	-	2.1%			
	KPI③：携帯電話不感エリアの夜間人口	8人	59人	7人	2人	-	-	-	-5人			
	主 な 取 組	小さな拠点づくりの推進										
		<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅等の整備 ⇒ 道の駅往還の排水施設接続工事を実施した。旭農産物加工直売所「つつじ」交流施設を整備した。 										
		都市計画等の策定・推進										
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン等の見直し ⇒ 新たな都市計画マスタープランを策定するため、都市計画の方針、地区別構想の検討を実施した。 												
情報通信基盤の向上												
<ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバーの整備 ⇒ 光ファイバー網整備による情報通信基盤の地域間格差の解消に向けて取り組んだ。 ・携帯電話エリアの整備 ⇒ 携帯電話の不感地帯を解消するため要望を行うとともに、整備した伝送路等を通信事業者へ貸与し、基地局施設等の維持管理を行った。 												

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
③持続可能で快適な環境づくり										
6 生 活 基 盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	KPI①：公共下水道整備率	95.0%	76.6%	77.6%	90.6%	-	-	-	13.0%	【KPI①】概ね計画どおり進捗している。今後も計画的に整備を進めていく。【KPI②】道路改良事業等の進捗状況により、一部次年度実施となった区間もあったが、耐震化率は向上している。引き続き、萩市水道事業ビジョンに基づき、水道管路の耐震化率の向上に努めていく。 【KPI③】迅速かつ継続的な助言・指導により増加した。今後も引き続き同様の取組を実施する。【KPI④】計画的に事業を実施しているが、単年度0.25kmの目標に対し、実績0.13kmとなっているため、今後は、目標値の達成を目指し、予算の確保を行う。
	KPI②：水道管路の耐震化率	14.3%	12.0%	12.9%	13.2%	-	-	-	0.3%	
	KPI③：市内老朽危険空き家解消件数（累計）	160件	128件	175件	202件	-	-	-	27件	
	KPI④：側溝のがたつき解消（延長）（累計）	1.25km	-	0.18km	0.31km	-	-	-	0.13km	
主 な 取 組	公共施設等の維持管理									
	<ul style="list-style-type: none"> 萩市公共施設等長寿命化計画の策定 ⇒ 中長期的な視点により公共施設に求められる機能等を確保し、財政負担の軽減及び平準化や長寿命化を図るための計画的な改修・改築等を実施する計画として、令和4年3月に策定した。 市営住宅の予防保全 ⇒ 萩市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅を長期的に活用していくための個別改修や長寿命化型改修を実施した。 									
	上下水道設備の維持管理									
	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業 ⇒ 配水管等の更新及び移設工事、配水池整備事業に伴う業務委託や監視設備等の更新工事を実施した。 下水道事業 ⇒ 面整備を進めるとともに、萩市公共下水道事業計画を変更し、整備区域の縮小を行った。 									
	道路施設、河川の維持管理									
	<ul style="list-style-type: none"> 河川の維持管理 ⇒ 河川浚渫計画を作成し、計画的に浚渫を実施している。計画的に護岸改修も実施中である。 道路施設の維持管理 ⇒ 側溝整備計画を作成し、計画的に側溝整備を実施している。舗装・交通安全施設についても、計画的に実施している。 									
	適正なごみ処理の推進									
<ul style="list-style-type: none"> 萩・長門清掃一部事務組合負担金 ⇒ ごみの適正処理や減量、資源化を推進する萩・長門清掃工場はなもゆの運営等に係る経費を負担した。 漂流、漂着ごみの一掃事業 ⇒ 萩市海岸線の景観美化及び環境保全を図るため、海岸に漂着したごみの回収・処理を行った。 										
空き家対策の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 老朽危険空き家除却促進事業補助金 ⇒ 悪影響が高い空き家について、適正管理を行うよう助言等を行った。危険空き家の解体工事等の経費を支援した。 										
民間木造住宅耐震化の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 民間木造住宅耐震診断、耐震改修の促進 ⇒ 民間木造住宅の耐震化向上を目的に、耐震診断及び耐震改修に対する補助を行った。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
6 生活 基盤 の充 実し た住 みよ いま ちづ くり	④防災体制の強化									
	KPI①：自主防災組織による訓練実施地区数（旧小学校区）	21地区	5地区	2地区	1地区	-	-	-	-1地区	【KPI①】コロナの影響により、自主防災組織による訓練が中止となったため減少した。また、町内会活動の自粛により、自主防災組織の立ち上げも困難な状況である。今後は、アフターコロナを見据え、各種媒体を活用した啓発活動を実施し、訓練実施地区数の増加に努める。【KPI②】消防操法大会が中止になったことにより、操法関連の訓練が中止となるなど、長期にわたるまとまった訓練が困難となり、訓練実施件数が減少した。反面、各分団ごとに必要な訓練を実施することで、より充実した訓練ができ、消防力の強化につながった。コロナの影響が続く間は、感染予防に配慮しながら各分団ごとの訓練を検討していく。
	KPI②：消防団員の教育・訓練の実施件数（年間）	135回	113回	78回	61回	-	-	-	-17回	
	主 な 取 組	地域防災力の向上								
<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災マネージャーの設置 ⇒ 防災訓練の立案と実行、住民への啓発活動、防災計画の見直し、災害発生時の関係機関との連携強化のため、設置した。 ・防災リーダーの育成、訓練の実施 ⇒ 地域防災マネージャーを活用して、地域防災リーダー養成研修、ステップアップ研修を実施した。 										
避難所機能、防災設備の充実										
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の機能強化 ⇒ 非常食、毛布、アルミマット、間仕切り、携帯電話用マルチ充電器等を整備した。 										
消防機能の強化										
<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の訓練 ⇒ 消防操法訓練は中止となったが、各分団ごとに必要な教育・訓練を実施するなど、消防力の強化に努めた。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
6 生活 基盤 の充 実し た住 みよ いま ちづ くり	⑤地球にやさしい環境づくり									
	KPI①：ごみリサイクル率	28.0%	22.0%	23.9%	21.5%	-	-	-	-2.4%	【KPI①～③】ごみリサイクル率下降の要因は、集団回収量の減少などに伴うものである。エコプラザ萩の来場者数減少の要因は、コロナ禍により、啓発講座等の活動において参加人数が制限されたことである。事務系ごみ量増加の要因は、事業者への啓発が不十分だったことである。今後も、ごみの地産地消、3R及び3きり（使いきり、水きり、食べきり）を推進する。
	KPI②：エコプラザ萩の来場者数（年間）	10,500人	10,000人	8,559人	8,104人	-	-	-	-455人	
	KPI③：清掃工場に搬入される事業系ごみ量（年間）	4,454t	4,688t	4,713t	4,789t	-	-	-	76t	
主 な 取 組	ごみ減量化の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発講座の開催 ⇒ 定期講座及び各種リサイクル講座を開催した。 ・3Rの促進 ⇒ 補助金等の支出により、生ごみの減量化と古紙の再生促進を行った。不用品の再生、販売を行った。 									
低炭素（地球温暖化対策等）の取組の推進										
<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンの育成 ⇒ 日差しを和らげ、エアコンの使用抑制を図る。PRのため、市役所本庁舎に緑のカーテンを育成した。 ・公共交通の利用促進 ⇒ 毎月ノーマイカーデーを実施、排気ガスの排出抑制に取り組んだ。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
KGI：市民アンケートによる満足度指標	向上	-	19.7%	19.8%	-	-	-	0.1%	
①市民との協働による元気なコミュニティづくり									
KPI①：市民活動センター「結」の利用者数（年間）	10,700人	10,698人	9,216人	8,903人	-	-	-	-313人	【KPI①】令和2年度の実績値から313人の減少となった。主な理由としては、コロナの感染拡大に伴い、1月16日から2月20日の間、臨時休館したことによるもの。コロナの収束が見えない状況ではあるが、引き続き感染対策を徹底し、利用者数の増加を図る。また、施設の利用を促進するため、情報提供を積極的に行う。
KPI②：審議会等への女性委員の参画率	40.0%	38.5%	37.8%	38.1%	-	-	-	0.3%	
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち、 求 め ら れ る ま ち づ く り	自治組織等との協働の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの推進 ⇒ 町内会等運営費補助金、地区集会所建設費補助金、広報等配布事務費交付金、防犯外灯設置費補助金を支出した。 ・行政推進員の設置 ⇒ 地区住民と行政との連絡調整を行うため、各町内会等に行政推進員を設置した。 								
	市民活動団体の活動推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターの管理運営 ⇒ 市民活動の振興とネットワークづくりの推進を図った。施設が老朽化していることから、補修工事を行うなど維持管理を行った。 								
	男女共同参画の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・女性団体の支援 ⇒ 萩市女性団体連絡協議会を設置し、市内女性団体の相互連携を図ることで、女性の社会参画を推進した。 ・女性相談に係る取組 ⇒ 女性相談窓口に女性相談員を配置し、解決に向けた支援を行った。暴力の予防を目的として啓発活動や情報提供を行った。 ・男女共同参画社会の推進 ⇒ 萩市男女共同参画プランに基づき男女共同参画を推進した。現行プラン（第2次改定版）が令和3年度をもって期限を迎えることから、令和3年5月に男女共同参画に関する市民意識調査を実施し、この結果等を基に第3次改定版を令和4年3月に策定した。 								
	消費者行政の推進								
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者行政の推進 ⇒ 消費生活相談員を配置し、消費者被害の未然防止と救済、トラブル解決に向けた支援を行った。消費者意識の啓発及び消費者教育の充実を図るため、出前講座を実施した。 ・消費者の育成 ⇒ 消費生活モニターを委嘱した。消費生活モニター通信を発行し、HPへの掲載等を行った。 								
	安心・安全対策の充実								
	<ul style="list-style-type: none"> ・広聴に係る取組 ⇒ 無料法律相談、消費生活無料相談を実施した。萩法律相談センターの運営経費に対し補助金を支出した。 ・交通安全の啓発 ⇒ 各種媒体を活用して広報活動を行った。交通安全運動を積極的に推進するため、関連機関へ補助金を支出した。 ・防犯対策 ⇒ 安全安心推進員を設置し、地域住民の要望、意見、相談に対応した。関係機関と共同で広報啓発及び実践活動を行うため、負担金を支出した。令和4年3月に犯罪をした者等が再び犯罪をしないための対策を明文化した「萩市再犯防止推進計画」を策定した。 								
地域コミュニティ組織の活動支援									
<ul style="list-style-type: none"> ・萩地域コミュニティへの補助 ⇒ 萩地域子ども会育成連絡協議会及び婦人会の活動に対して補助をした。 ・魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
7	②萩の魅力をいかした移住・定住								【KPI①、②】コロナの影響により、移住や地方でのテレワークを希望する方からの問い合わせが増えており、移住相談件数と移住世帯数ともに、昨年を上回る数値となった。【KPI③】地域おこし協力隊の退任後の定住支援を強化し高い定住率を目指す。	
だ	KPI①：移住相談件数（年間）	600件	528件	721件	910件	-	-	-		189件
れ	KPI②：定住相談窓口を通じた移住世帯数（累計）	400世帯	251世帯	339世帯	398世帯	-	-	-		59世帯
か	KPI③：地域おこし協力隊員の退任後の定着率	70.0%	50.0%	73.9%	67.7%	-	-	-		-6.2%
ら	移住相談体制の充実									
も	<ul style="list-style-type: none"> <新規>・はぎポルトー暮らしの案内所一開設 ⇒ 萩市へ移住を検討している人や、萩に関わりたい人と地域をつなぐための拠点を整備した。 <新規>・空き家情報バンク利用促進 ⇒ 案内予約が多い物件について、動画で物件紹介を実施した。 									
愛	移住体験の推進									
さ	<ul style="list-style-type: none"> ・萩暮らし体験の推進 ⇒ お試し暮らし住宅の管理、運営を実施した。 									
れ	移住者向け住環境の整備									
る	<ul style="list-style-type: none"> ・各種移住支援制度 ⇒ 移住支援のための各種補助制度を多様な媒体を活用し情報発信した。 									
ま	地域おこし協力隊の活動・定着の推進									
ち	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の設置 ⇒ 新たに6名委嘱した。退任した8名のうち4名が萩市に定住した。 									
づ	関係人口の創出									
く	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口構築の促進 ⇒ 移住スカウトサービスSMOUTの活用やオンライン相談会を実施し、地域課題の解決に必要な人材の確保に取り組んだ。 <新規>・関係案内人養成 ⇒ 地域のニーズと、地域との関わりを求める都市住民等をコーディネートする「関係案内人」を育成した。 									
り	移住者の就業・創業の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・はぎビズの活用 ⇒ 伴走型の事業者支援を行うはぎビズを介して、移住者の創業を支援した。 									
	農山漁村交流の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・萩市農山漁村交流プロジェクトの推進 ⇒ 第一次産業の資源を活用した都市と農山漁村の交流事業に取り込む萩市ふるさとツーリズムを推進した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	③市民一人ひとりが輝くまちづくり									
	KPI①：公民館の実施する講座・教室等の参加者数（年間）	12,000人	11,918人	6,023人	5,365人	-	-	-	-658人	【KPI①】減少の要因は、コロナの感染拡大防止対策で人数制限等を実施する中、さらに県からの行事等の自粛要請が度々発表されたことである。引き続き、安心・安全に利用できるよう対策を講じていく。【KPI②】コロナの影響を受ける中においても、規模を縮小する等により、スポーツイベントや大会を実施した。今後も安心・安全に配慮した上で、従来の大会規模で実施することを進めていく。【KPI③】移動図書館の巡回時や10か月児健康相談などで読書通帳の登録を勧めていることが、増加の要因である。卒園後も読書通帳を活用してもらえよう利用促進に努める。NPO萩みんなの図書館との協働で読書普及のための行事や展示を継続して行う。
	KPI②：スポーツイベントの参加者数（年間）	6,000人以上	5,700人	200人	1,546人	-	-	-	1,346人	
	KPI③：読書通帳登録者数	5,700人	5,222人	5,832人	6,090人	-	-	-	258人	
主 な 取 組	文化イベントの開催や文化活動の普及・振興									
	・芸術文化の振興 ⇒ 萩市美術展を開催した。全国大会に出場した団体、個人に対して助成した。 ＜新規＞萩市役所ロビーコンサートを開催した。									
	・読書の普及 ⇒ 講座やイベント等を実施し、読書通帳、電子図書館、貸出カードの新規登録につなげた。									
	スポーツイベントの開催、生涯スポーツの普及									
	・スポーツ振興の補助 ⇒ 萩城下町マラソン大会及び萩往還ワンデーウォークは実施したが、萩市駅伝競走大会はコロナ感染状況により中止となった。									
	地域コミュニティの拠点施設、文化施設、スポーツ施設の管理運営									
	・各種施設の運営、維持管理 ⇒ 公民館の各種学級や講座の開設等を行った。萩市民館等の維持管理等を行った。									
	・図書館の運営 ⇒ NPO萩みんなの図書館と市の協働により運営した。									
	東京2020オリンピック・パラリンピック（ホストタウン）レガシーの継承									
	・東京2020オリンピック・パラリンピックの推進 ⇒ 機運醸成のため、東京オリンピック聖火リレーを実施した。また、萩市はカヌー競技場を有し、カヌー競技のオリンピック選手が在籍することから、カヌー競技の推進として、阿武川を訪れた方が気軽にカヌー体験ができるようカヌー体験教室を実施した。									
	人権啓発、人権教育の推進									
	・人権の心をはぐくむ市民の集いの開催 ⇒ 人権の花運動活動報告、人権講演会等容を開催した。									
	・人権教育の推進 ⇒ 市内を巡回して行う研修や、体験、交流活動等を主とした研修を実施した。指導者養成の講座を開催した。									
	子ども・若者の社会参加支援の推進									
	・ひきこもり支援の推進 ⇒ 世代を問わない「ひきこもり」に特化した相談受付窓口の周知・運営を行った。									
	・子ども、若者への総合支援 ⇒ 学習支援や就労支援などの支援を行うため、居場所づくりを実施した。就学、就労など社会参加や社会的自立に向けた支援を行う萩市子ども・若者総合サポート会議を運営した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	④地域の特色をいかしたまちづくり									
	KPI①：夢プランに基づく実証事業の実施件数	28事業	18事業	22事業	24事業	-	-	-	2事業	【KPI①、②】夢プランは住民主体の活動計画であり、コロナ禍により計画通り事業を進められなかった地域もあるが、各地域の特性や資源をいかして積極的に取り組まれている。今後も、必要に応じてプランの支援を行う。
	KPI②：夢プランの事業化と事業の継続件数	12事業	0事業	14事業	15事業	-	-	-	1事業	
主 な 取 組	地域振興計画「夢プラン」の策定、推進									
	・夢プランに係る取組 ⇒ 夢プランに基づく実証事業を実施した。夢プランの事業化と事業の継続を実施した。									
	・阿武川ダム湖活用地域の活性化 ⇒ 阿武川ダム湖を活用した地域活性化を図るため、ダム湖への進入路を延長する工事を実施した。									
	魅力ある地域づくりの推進									
	魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較 前年度比	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑤魅力ある離島の発展									
	KPI①：見島・大島・相島の水産物水揚量（年間）	3,500t	3,303t	2,559t	3,070t	-	-	-	511t	【KPI①】大島の水揚量は、昨年より増加したが見島・相島は、昨年より減少している。見島・相島の減少は、時化等による出漁回数の減少や水産資源の減少が要因と考えられる。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全、生産力の向上等を推進していく。【KPI②、③】令和2年度に比べてコロナによる影響が徐々に緩和されていることが、離島航路の利用者数の増加の要因と考えられる。また、貨物輸送においてはコロナの影響はあるが、大島航路の公共事業による貨物輸送量の増加が影響したと考えられる。現在の相島定期船は令和5年に新船が完成予定である。新船は、フェリー化やバリアフリー化等により、利用者数の増加を図る。
	KPI②：離島航路利用者数（年間）	160,000人	147,000人	110,959人	126,232人	-	-	-	15,273人	
	KPI③：離島航路貨物輸送量（年間）	6,500t	6,000t	4,453t	4,737t	-	-	-	284t	
主 な 取 組	離島高校生の修学支援									
	・離島高校生の修学支援 ⇒ 離島に住む高校生の保護者に、本土への通学費や居住費などを対象とした修学に係る経費を支援した。									
	離島航路の維持									
	・離島航路の維持 ⇒ 離島において必要不可欠な離島航路を運営する事業者への支援を実施した。									
	離島の漁業振興									
	・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取組を行う漁業集落を支援した。									
	特定有人国境離島の支援充実									
	・見島の産業振興 ⇒ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、見島の戦略産品の移出及び原材料等の移入に係る輸送費の一部を支援した。									
	大島複合施設の整備									
	・大島複合施設の整備 ⇒ 行政、地域コミュニティ、医療、福祉の拠点となる複合施設の整備工事を進めた。									
項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較 前年度比	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑥その他全般的事項									
	KPI①：都市・国際交流事業の参加者数（年間）	500人	300人	165人	40人	-	-	-	-125人	【KPI①】長引くコロナの影響により、令和2年度と同様に、国内外の交流イベントが実施できていない。オンライン会議や物産交流など、コロナ禍においても実施可能な方法により、交流を図っていく。【KPI②】単年度での目標は達成しているが、コンビニでの証明書発行が可能なことをPRするなど、交付率を上げるための取組を検討する。
	KPI②：マイナンバーカード交付率	88.1%	12.9%	31.6%	47.7%	-	-	-	16.1%	
主 な 取 組	都市・国際交流の推進									
	・都市交流 ⇒ 姉妹都市である石川県輪島市の表敬訪問の対応を行った。									
	・国際交流 ⇒ 国際交流員による英語講座、異文化交流会等を実施した。									
	市民サービスの利便性向上									
	・利便性の高い証明発行等 ⇒ 越ヶ浜郵便局で、公的証明書の交付に加え、国民健康保険や飼い犬の登録の受付など10業務の行政サービスを受けられるようにした。									
	・受付の延長 ⇒ 毎週木曜日午後7時までと3月末と4月初めに市民課窓口の受付を延長した。									
	マイナンバーカードの普及と活用									
	・個人番号カードの交付 ⇒ 出前講座や出張申請受付、窓口での無料写真撮影を実施し、申請を支援した。									
	・各種証明書のコンビニ交付									

令和3年度 地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金 効果検証シート

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付決定(千円)	交付(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名
1	【推進交付金】域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業 【事業開始：R2】	980	490	490	観光情報サービス事業充実事業	新たなモビリティサービス調査・実証事業 ※萩市はR3年度から参画 スーパー萩号及び萩トラベルパスの電子化を実証事業として実施中＝1件	本取組等による実証事業の実施件数(新たなモビリティサービス調査・実証事業)	R5.3	1件	1件	観光課
2	【推進交付金】「関係人口」創出による移住・定住促進～関係人口構築促進事業～ 【事業開始：R2】	5,258	2,629	2,629	関係人口構築促進事業	【移住スカウトサービス「SMOUT」の活用によるプロモーション事業】 移住スカウトサービス(SMOUT)を活用によるネット関係人口の構築 【人材育成事業】 ローカルエディターへ地域内の適切な情報提供や相談対応ができるコーディネーターの配置 ローカルエディターが関係人口と地域をつなぐ中間支援組織の中心的な役割を担う人材になるよう育成 令和4年4月に開設予定の萩暮らし案内所に関わる人を増やすため、民間メンバーの関係案内人を養成	相談窓口を通じた移住者の数	R5.3	68人	103人	おいでませ、豊かな暮らし応援課
							移住相談件数		628件	1,356件	
3	【推進交付金】～新たな日常に対応した地域産業の活性化！～萩市地域産業牽引強化事業 【事業開始：R3】	23,264	17,378	11,632	就業促進支援事業 起業化支援事業 中小企業チャレンジ支援事業 はぎBiz運営事業	【市内就業促進支援事業 合同企業説明会開催事業】 ・萩・維新ふるさと企業説明会 企業説明会を実施し、高校卒業予定者と市内企業のマッチングの場を提供する。	萩市内出身新卒学生等の地元就業者数	R5.3	45人	29人	商工振興課
						【市内就業促進支援事業 新社会人向け研修会】 ・新社会人向け研修会 (新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止)	萩市での新規起業件数		11件	9件	
						【市内就業促進支援事業 ニュービジネス創出支援事業】 ・ビジネスプランコンテスト実施事業 ・独創性や地域貢献性の高い事業内容により起業する者や、他分野へ事業拡大を図る事業者を募集し、ビジネスプランコンテストを実施	中心市街地における空店舗活用件数		5件	1件	
						【事業継続強化促進事業】 ・はぎBiz運営事業 経営者の高齢化や後継者不足等、経営上の様々な課題に対応するため、萩市ビジネスチャレンジサポートセンターを運営し、支援機関や金融機関との連携による伴走型の事業者支援により課題解決に取り組む。	合同企業説明会参加企業数		29件	26件	
						-	-		-		
3	【推進交付金】～新たな日常に対応した地域産業の活性化！～萩市地域産業牽引強化事業 【事業開始：R3】	23,264	17,378	11,632	産業人材育成塾開催事業	【産業人材育成事業】 ・産業人材育成塾開催事業 産業人材育成塾の開講により、業種の垣根を超えた地域を担う産業人材を育成する。	-	R5.3	-	-	産業戦略室

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付決定(千円)	交付(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名
3	【推進交付金】 ～新たな日常に対応した地域産業の活性化！～ 萩市地域産業牽引強化事業 【事業開始：R3】	23,264	17,378	11,632	企業立地推進事業	<p>【企業進出・誘致対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地適地調査事業 市外からの企業立地及び市内事業者の事業拡大のために必要な事業用地を選定するための調査業務 <p>【企業進出・誘致対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス誘致事業 都市部でのIT展示会に出展しPR活動を行う。 (新型コロナウイルス感染症の影響により出展を中止) <p>【産業人材育成事業 グローバルIT人材育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なプログラミング教室等を支援し各年代に必要なIT学習環境を整える。 (新型コロナウイルス感染症の影響により、体験イベントの中止及び広報活動の中止) 	-	R5.3	-	-	企業誘致推進課
4	【推進交付金】 山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり 【事業開始：R1】	11,648	6,401	5,757	観光施策負担金・補助金事業 萩版DMO推進事業 シティプロモーション事業	<p>【7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊型博覧会を通じた広域連携体制づくり事業 <p>【インバウンド誘客事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド誘客プロモーション 毎年、英国で開催されるジャパンエキスポにオンラインPRブース出展とバーチャルツアーを展開 また、国内、欧米豪の英語圏及び台湾・香港の中国語圏をターゲットとした情報発信(萩の観光取材記事の作成及びSNS等を活用した広告)を行った。 <p>【周遊促進及び滞在消費喚起事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○素材ブランディング・マッチングによる魅力創造事業 ・観光地「萩」の魅力創造事業 1.デジタルプロモーション事業 国内旅行者誘客促進を目的として、昨年度作成した「萩観光動画(30秒版)」を観光系メディアのスマホアプリに広告を掲載した。⇒180万回再生を獲得 ○着地型観光推進による観光地域づくり事業 ・3市連携萩往還ガイド事業 山口市、防府市、萩市にまたがる萩往還の語り部による萩往還ガイドワーク等の取組を支援し、広域連携ガイドの充実による観光客の満足度向上・ガイドツアー造成により交流人口の増加を図った。 	観光客数【年間】		4,891,512人	3,178,124人	観光課
						外国人観光客数【年間】		33,100人	14人		
							R4.3	-	-		

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付決定(千円)	交付(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名						
4	【推進交付金】 山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり 【事業開始：R1】	11,648	6,401	5,757	ジオパーク推進事業	<p>・萩ジオパーク推進事業 萩ジオパークを楽しむためのジオガイドの育成と、ガイドツアーや講座を行った。また、来訪者へジオパークを普及するためイベントを開催し、情報発信のため広告掲載やマップ、パンフレットの作成、配布を行った。</p> <p>1. ガイド人材育成事業 ガイドのスキルアップを目指し、外部講師を招聘し講習を行った。</p> <p>2. ジオツーリズム及び各種講座の実施 コロナ禍において来訪者が制限されたことから、オンラインジオツアーを6回、感染対策を講じたリアルジオツアーを4回実施した。</p> <p>また、「萩ジオユニバース」と題して、地学をはじめ多分野の外部講師による講座、「食」を題材とした体験型講座、外での遊びを通して、大地と人の“つながり”を実感する体験型講座を開催した。</p> <p>3. 交流イベントの開催 ジオパークの普及とジオパーク活動を展開する団体等が交流するイベント「萩ジオパークフェア2022」を開催した。</p> <p>4. 情報発信事業 ジオルジュ2021年後期号で萩ジオパークの広告記事を掲載した。また、萩ジオパーク的な楽しみ方を紹介したマップ・パンフレット等を作成し配布した。</p>	-	R4.3	-	-	ジオパーク推進課						
						<p>(ハード事業) 【周遊促進及び滞在消費喚起事業】 ・萩ジオパーク推進事業 須佐ホルンフェルスの魅力を正しく理解していただくため解説板を設置した。</p>											
5	【地方創生拠点整備交付金】 アウトドアとコラボ！萩田万川温泉センターリニューアル事業 【事業開始：R3】	308,098	139,437	139,437	萩田万川温泉センター改修事業	<p>【施設名称】 萩田万川温泉センター(939.47㎡)</p> <p>【整備内容】 ●建築工事 ・厨房と食堂を店舗に改修 ・食堂を多目的スペースに改修 ・屋外用トイレ(男・女)新設 ・男子浴室にサウナルームを新設 ・女子更衣室を増床(8.29㎡)し、パウダールームを充実 ・浴室・露天風呂等改修 ・内装改修(萩市単独事業分) ・屋根、外壁改修(萩市単独事業分) ●電気設備 ・既存照明設備をLED器具へ全面改修 ・給湯方式変更に伴う電気容量増設のため受変電設備改修 ●機械設備 ・既存トイレの洋式化及び多目的トイレをオストメイト対応に改修 ・既存温泉用給湯設備をボイラー方式からヒートポンプ方式に改修 ・給水給湯配管の全面改修</p> <p>【整備内容】 ●増築工事(339.30㎡) 多目的テラス棟の増築</p> <p>(ソフト事業) ●萩田万川温泉センター誘導看板(横5m×縦2m)の設置 ・萩ジオパーク推進事業 本事業により、利用者のニーズに合った施設にリニューアルされ、アウトドアのイメージが新たに加わるなど、当施設の価値は大きく向上するため、その魅力を最大限引き出し、客足に繋がるよう、当施設に最も近く、交通量の多い国道191号沿いの道の駅「ゆとりパークたまがわ」付近に誘導看板を設置</p>	萩田万川温泉センターの年間売上額		34,200千円	0千円 ※R4年度からの目標設定	萩田万川温泉センターの年間利用客数	70,000人	0人 ※R4年度からの目標設定	萩田万川温泉センターを拠点とした観光プログラム造成数	4件	0件 ※R4年度からの目標設定	観光課
						<p>【整備内容】 ●増築工事(339.30㎡) 多目的テラス棟の増築</p>	-	R7.3	-	-	-						